

祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。
そうすれば、そのとおりになります。

(マルコ 11 : 24)



白馬セミナー主講師
Hakuba Seminar

11月17日(木)～19日(土)
ホテルグリーンプラザ白馬(長野)

(左上) イスラエル・ウェイン氏
(右上) マイク・ドネリー弁護士
(左下) ジョイス・イノウエ女史

皆さん、お元気ですか？ あっという間に11月、いよいよ白馬セミナーの季節となりました。既に330名余り(11月3日現在)の皆さんが申し込んでくださり、とてもうれしく思っています。

セミナーのプログラム・抄録が完成しましたのでお届けします。後述しますが、今回の3人の講師は、それぞれ特別な痛みを体験されながらも、神さまの恵みと祝福の中で輝いておられる皆さんです。今年もLITは満席(ウェイティング受付中)、大阪バスも残席2名、東京バスは残席18名です(大阪は、バスのサイズを拡大できるか検討中)。初企画の同窓会も青年層に必ず聞かせたいプログラムで、ある

お父さんが「リアルなニーズに応える内容ですね。20代の息子に聞かせたい」と言ってくださいました。20代になったから完成・安全ではなく、戦いは激しいです。そうしたニーズに応え、全国の家族・後輩たちを励まし、自分も励まされる企画（「結婚」、「国政」、「将来計画」セミナー、映画「HSドロップアウト」、「パネルディスカッション」ほか）ができました。今のところ、26名の皆さんが申し込んでくれています（11月3日現在）。9月の準備会を経て、東京では5日（土）にOB/OG会が開催され、新しい動きが始まっています。

チャーチ&ホームスクーリングを含む多様な教育をめぐる教育機会確保法案も、国会での審議が今月中下旬で山場を迎える見込みです。馳浩・前文科大臣や笠浩史・元文科副大臣（民進党国対委員長代理）らの推薦のことばと共に、『チア・マガジン44号 続・法案特集号』を衆参国会議員の皆さんに贈呈させていただくことになり、感謝です（今月中下旬予定）。続けてお祈りください。

神さまの御業はすごいな一と感謝し、驚く日々が続いています。神の願いを祈れるように願いつつ、「祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります」（マルコ11:24）との信仰を強くして歩んでいければと思っています。

今年の白馬セミナー、ぜひ、ご参加ください。ご無理な方は、お祈りのほど、どうぞ、よろしく願います。皆さんへのますますの祝福を祈っています。

チア・につぼん代表 稲葉寛夫

家族関係の痛みを体験した、 恵みと希望と信仰の講師陣

白馬セミナーのアメリカからの講師たちは3人とも、家族関係において、深い痛みを体験しておられる方々です。その痛みの先にある、主の恵みと希望と勝利を体験され、今、キリストの愛、家族・教育の聖書への回復の必要を、確信を持って分かち合っておられる素晴らしい皆さんです。

イスラエルさんは、シングルマザーの手で育てられたホームスクーラーです。ホームスクーリング関連のマガジンや書籍発行の実績が評価され、全米ネットのTV番組にも招聘されています。

イスラエルさんのお母さんは、牧師の御主人と離婚に至り、その後、ノンクリスチャンの男性と再婚します。「継父は、当時12、3歳だった僕を虐待し、殺そうとしました。それで継父は、起訴されます。その時に継父が言ったことばは、『出所したら、必ずお前を見つけ出して、殺してやる』。自分も継父を憎み、『あなたを殺す』と…」。

そんな中で、イスラエルさんは、神さまに祈ったそうです。「父の思いは、子に影響し、子はいっしょか父と同じことをするようになる。自分は

この思いを、将来の我が子に持たせたくない。神さま、自分を今、殺してください。そうしたくないから。さもなければ、継父へのこの憎しみを取り除いてください」と。すると「神さまは、憎しみを取り除いてくださいました」。

その後、継父は収監されないこととなり、さらに5年余り共に生活します。その間、家族への虐待は続きます。5年後、継父は家を去り、離婚。でもお母さんは、この時期にはっきりとキリストへの信仰を持ったのだそうです。信仰を持ってから、神さまを第一とする教育をしようとの思いから、ホームスクーリングが始まったのだそうです。

シングルマザーが6人の子どもたちをホームスクーリングしていることが評判となり、地元の新聞社が取材。記事は大きな反響を呼び、80年代、まだホームスクーリング・ムーブメントが始まったばかりの全米各地のホームスクーラーに口コミで拡がり、問い合わせが殺到します。『ホームスクーリング・ダイジェスト』という隔月のマガジンを発行し、経済的にも家族を支えることが可能になっていきます。

イスラエルさんは言います。「母は収入も不十分なまま、6人の子どもをホームスクーリングする道を選びました。母自身は、高3の時に中



OB 小島宰門君による「Pasmo の仕組みと、『イエスの着物に触れた女性の信仰(マルコ 5 章)』の関係」セミナーに「面白い！」(チア・ワクワク合宿にて。9月)

退しています。福祉のサポートを受ける道も選びませんでした。お金も学歴も技術も無かったけれど、ホームスクーリングしたいという強い願いがありました。今、思うと、神の恵みだけだったと思います。神さまは出版の仕事を与え、自分たち家族をいやすだけでなく、ほかの家族がいやすれる助けをし、強めていく道を与えられました。神が父無き者の父となり、夫無き妻の夫となってくださった。今、私に神は妻と7人の子どもたちを与えてくださり、子どもたちは、自分をものすごく愛してくれる両親に恵まれています。これらはすべて、神の恵みです」。このような体験を重ねてきたイスラエルさんを、今回、9年ぶりにお迎えることは大いなる恵みと思います。

崩壊した家族から、 世界のホームスクーラーたちの弁護活動へ

マイク弁護士も、崩壊した家族の中で育ちました。でも、現在、7人のホームスクーラーパパで

あり、「壊れてしまった家族・人間関係の修復に、遅すぎることはない」「問題を隠さず、直面して解決しよう」と呼びかけています。

様々な要職を経て、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）の弁護士として、全米、世界のホームスクーラーに法的な支援の手を差し伸べ続けています。最近の日本の国会での動きについても多くの良きアドバイスをいただきました。

当初、法案には月1回の教育委員会・学校による家庭訪問、教育委員会による認定制度等が含まれ、令状なき家宅侵入の制度化や基本的人権への侵害が懸念されました。チア・にっぽんは、全米・世界各国のホームスクーラーたちを支援し、約10万家族をメンバーに持つHSLDAらと連携しつつ、憲法違反と思われる点等を指摘し、本来の法制度のあり方を提案し続けました。その結果、関係議員、政府の皆さん方らの賛同を得ることとなり、それらの条文は削除となっていきました。

そうした中、マイク弁護士も神さまを讃え、喜びを共にしてきた同志の一人です。5月上旬、以

下の会話を交わしました。

「(マイク弁護士) チア・にっぽんが政府、議員たちに対して、強く立ち続けてくれてうれしかった。ありがとう!」「(稲葉) それはマイクやHSLDA、アメリカのホームスクーラーたちの40年の歴史と今回の理論面でのインプット、強力なサポートがあったおかげだよ。神さまの助けだし、皆さんに心から感謝だよ」「すべての栄光は僕らではなく、主に返すよ。アメリカで起こってきたことも奇蹟の連続だった。今回、日本で起こっていることは、まさにアメリカの展開とまったく同じ奇蹟だと思う。今後も、日本でも、アメリカ以上にホームスクーリングが成長していくことを祈ってるよ」「ありがとうございます! 僕も、すべて神の奇蹟だと思う。来週から、また審議が始まり、議員の皆さんとの面談や提案等、予定されている。祈ってください」「ぜひ。来週のHSLDAスタッフミーティングで特別課題として祈るよ」

その後の国会でも、良い展開が続きます。法案では削除された「多様な教育」という文言が、基本理念の中で復活したり、様々な面談が開かれ、チアからの提案が通ったりしました。そして、誰もが5月で「法案成立か」と思っていたのに、急転し、私たちが願っていた、秋の国会での継続審議となるなど、不思議な展開をしていきます。

マイク弁護士の日本のホームスクーラーたちへの心と、霊的な側面、そして崩壊した家庭の痛みによって育まれた深い洞察、さらにイエスさまとの結びつきの中で得た世界の情報からの強化を、ぜひ体験していただければと思っています。

2人の我が子の課題を乗り越え、 約40年のミニストリー、そして日本へ!

ジョイス・イノウエさんは、2人の子どもたちが聴覚・視覚等の情報処理の困難に苦しんだことから、約40年のミニストリーが始まります。適切な対応と訓練と神の助けの中、2人は困難を克服し、大学を卒業して結婚、次男はアーティストとして、また長男は伝道ミニストリーに励んでいます。次男が開いたハリウッドでの個展を家族で見に行きましたが、素晴らしく、作品のレプリカを求めました。

ジョイスさんは、その後、様々な大学で特別講師となり、今、日本の子どもたちへの支援のために立ち上がってくれています。イノウエ夫妻は、「チアでの日本講演をきっかけにチャイルドDが始まりました」と何度も感謝してくれています。今回4回目の講演。初来日後に発病したバセドウ氏病に打ち勝ちながらの来日です。

アメリカで4~5人に1人と言われ(誤診も含



「お母さん、キリストと共にがんばる!」
チア・オリンピッククにて(9月)

「お父さんもキリストとみんなと頑張る！」
45人×4チーム対抗綱引き大会にて
(チア・オリンピック)。9月



めてですが)、今、日本でも急増している「学習障害」に、聖書あるいはホームスクーリングという視点から専門的な光を当ててくれています。毎晩、親が、子どもたちの枕元で、具体的な祝福の祈りをしてから寝かしつける、「祝福の祈りのムーブメント」もジョイスさんが分かち合い、多くのチア・メンバーたちの心を打ち、日本でも静かに広がっています。健康状況もあり、何人かのチア・メンバーたちを中心に、後継者作りも始めています。ぜひ、今回の機会を逃すことなく、用いてくださればと思います。

こうした3人の講師陣に加え、日本で奮闘くださっている数々の講師陣がかけつけてくださいます。祝福を、ぜひお祈りください。

CSS ワクワク大作戦、 半年が過ぎて見えてきたこと —— 親の併走と父の役割の重要性

先月中旬、チア・サポートスクール (CSS) の月例の保護者会を行いました。今春から始まった「ワクワク大作戦！」が半年を過ぎました。2度のワクワク合宿も祝福され、CSS生はもちろん、全国のホームスクーラーの皆さんにも、成果や効

果が見え始めています。

見えてきたのは、「親のサポート&伴走がティーンの学力・信仰を伸ばす」というポイント。「微分・積分」を一緒に勉強しなくてもOK！ 親が寄り添って励ますことが、大きな力になるという、ホームスクーリングの真髄を別角度から確認できました。そして、「ホームスクーリングこそ、最高・最新の学習法」であったことの再発見！ たくさんの時間を自分でハンドルしていく「社長養成コース」であること。さらに「英語多読」から「日本語多読」への発展や、「全国・海外の通信制（ファミランコース）の効果アップ」、「集中力をアップさせる方法」ほか、多方面で着実に新しい成長が見られています。とはいえ、まだまだ道半ば。

ワクワク合宿ではティーンたちに以下の聖句をもって、親子の絆を育み続ける話を分かち合いました。基本である「父母を敬いなさい」ということを外れないために。

**「自分の父をあざけり、母への従順を
さげすむ目は、谷の鳥にえぐりとられ、
鷲の子に食われる」(箴言 30:17)**

「ティーンのみennaにとって、絵本か漫画チック



12人のOB/OG パネル大反響！（9月）その後、OB・OG会が開催ともなりました！（11月5日）白馬での全国版、お祈りください！

クに聞こえるかもしれないけど、これも聖書のことばだということを知りしめていこう！

ティーンになって、お父さん、お母さんのいろいろなところも見てくるだろう。でも聖書は、親が完璧だったら敬いなさいとは書いてない。父母を敬うなら、“幸せ”と“長い人生”が与えられるとあるよ。親を敬い、深い絆を育ててきたことは、みんなの強いところだし、これからも、そうだ。強くしていくんだよ」と話しました。

そして親御さんに、ティーンになったからといってあきらめずに、直面し、一層深い関係を築き続けてくださいとお願いしました。

白馬セミナーを迷っていたお父さんがおられました。年休が残り少ないとのこと。別なお父さんが言いました。「そこは神さまに任せたら」。奥さんも言いました。「一緒に行きましょう！」。僕は言いました。「ぜひ、祈って。長旅だけど、そうした旅で一緒に時間を過ごすこと自体が、息子さんにとって、宝になりますよ。僕にとってもそうだった。一緒に参加して、ご飯食べて。今年は、マイクさんにもイスラエルさんにも、『父の役割』のセッションをお願いしていますよ。そうしたセッションと一緒に出てほしい。子どもた

ち、あっという間に大きくなるし、今ティーンで、あと何回参加できるか分からない。もちろん、仕事も大事だから無理は必要ない。でも、まだ年休があつて出られるなら、今が貴重だから、ぜひ、祈ってください」。Aさんは今も祈ってくれています。

CSSでは、チアの3つの強い目的、「魂の救い」「キリストの弟子の心を与える」「伝道・世界宣教」を心に刻みつつ、挑戦の日々が続いています。分科会でも、240日間の検証結果を分かち合いますので、神さまの導き、ニーズや状況に合わせて自由にカスタマイズくださり、チャーチ&ホームスクーリング・将来の伝道への準備強化策として用いてくださればと思います。

OB/OG会、リアルなニーズに答えて、躍動へ！

白馬セミナーでの第一回OB/OG同窓会、お申込数が26名になりました。リアルなニーズに応え、後輩・家族を励まし、本人も励まされる企画（「結婚」・「国政」・「将来計画」・「伝道」セミナー、映画「HSドロップアウト」鑑賞&討論会、「パネル

ディスカッション」ほか)のプログラムができました。

このプログラムで紹介する映画「ホームスクーラー・ドロップアウト」は、第二世代のホームスクーラーたちの数々の問題に、5人のホームスクーラー兄弟(ボキン家族)が心を痛め、取材を進め、ホームスクーリング・ムーブメントの原点に目を向けていくストーリーです。

今や240万人を超え、アメリカで市民権を得て拡大していくホームスクーリング。その一方で、信仰に燃えた両親の思いと愛情が伝わらず、「結婚後、ホームスクーリングをするかしないか」は、ただの選択肢の一つと考える第二世代も少なくありません。歴史の浅い日本のホームスクーラーたち(約17年)は、どうでしょうか。日本の第二世代にとっても関係あるであろう問題が掘り下げられていきます。

この作品を見た若者たちが、聖書の本質に根差したホームスクーリングの原点に目覚め、状況を打破するのは自分なのだと思え、勇気と励ましを得ていく、そうした反響が多く寄せられています。白馬セミナー・第一回同窓会では、どんな反響が寄せられるのでしょうか、楽しみです!

ある親御さんは、「これは絶対、娘に行かせたい!」「とても必要だと思う!」「参加者1人か2人と思ってたら、20人も行くなんて! 私も行きます(現在26名)」ほか、いろいろな喜びの反響をいただきました。

また準備会に参加した12名の中から有志たちが、今月5日に東京でチアOB・OG会を企画してくれていて、僕もおやつを持って参加予定です。

こうした会が、チアの3つの目的(救い・キリストの弟子の心・伝道/世界宣教)を再確認し、リフレッシュされ、力を受ける時ともなり、東京でも、白馬でも、まさに後輩・家族を励まし、本人も励まされる集いとなるように、心から祈ります。将来、日本から全世界に若者が福音を持って出ていく、そうした時代になるように、心から祈ります。

**希恵さん、美香さん、
ブラジル・モンゴル伝道へ!**

寂しい、でも喜ばしいニュースとしては、15年余り、チルドレンミニストリーの責任を持って、自分の子どものようにチルミニ参加者に接してくれた、岩佐希恵さんと岩佐美香さんが、今月、ブラジルとモンゴルに伝道者として遣わされていくこととなりました。

美香さん「『人生は短い。イエスさまのためにしたことだけが残る(Only one life, it will soon be passed. Only what's done for Christ will last.)』とのCTスタッドのことばを思います。お金や名誉は意味がない。キリストだけにといいことですね。そうした聖書にあって育てられたチアの子もたちは恵みだし、今後、キリストの福音のために散らばって神のために生き続けてほしい。自分はこれまで話したり、教えたりして関わらせていただいたけど、今度は自らの模範をもって伝道に生きる姿を示せればと思っています。白馬のためにも祈っています」。

希恵さん「ちょっと不安もあったけど、ブラジル行きは神さまからのプレゼントだと思いました。父が日本人を愛したように、私もブラジル人を愛せるように祈ってます。チアのお父さん、お母さん方が、時に孤立しながらもキリストに結びつき、がんばっている姿を見て、ずいぶん励ま



ブラジル伝道に向かった希恵さん(写真右。コンベンションにて)。「チアのお母さんたちが、孤立してもキリストに結びつき、励む姿に学びました」

れました。私も1人でもできるように祈っています。母に話す時はちょっと涙も出ました。でも母は『そういう風になるように育てたんだからいいんだよ。行ってらっしゃい』と引き止めず、私は心から感謝でした。父も生きていたら、『Go!』と言ったでしょう。チアの皆さんのためにずっと祈るし、どうぞ、ブラジル伝道のためにも祈ってください。またブラジルに来たい方は、3ヶ月は観光ビザで滞在できるからいつでも連絡くだ

さい!」

ここ数年、写真撮影を担当してくれた服部豊君も12月、南アジアの国に伝道に向かいます。今回、白馬での撮影を買って出て出かけています。心から感謝です。

ピリポさんですが、前号でお知らせしました腰の骨折（第4腰椎症）は順調に良くなっておられます。ただ退院後、リハビリのために散歩をし過ぎて、1週間後から痛みが再発し、今は再び安静

モンゴル伝道に向かった美香さん（チア・サマーキャンプにて）。「人生は短い！ イエスさまのためにしたことだけが残る！」



ガンと闘うテモテさんは、11人の子どもたち（4 - 22歳）のお父さん。1回目の移植手術成功で、今月2回目へ



期間ということで白馬セミナーは欠席です。「お医者さんからは『若くないから、もう少し、ゆっくりやりなさい』と言われました。白馬に行けなくて残念です」。来年、元気になったらぜひとお願いしました。

骨髄ガンと闘うテモテ・ブローマンさんですが、7月に幹細胞自家移植をした後、順調に回復。血液中のガンの数値も最低の数値、骨髄ガンを示す細胞も激減しているとのこと。2回目の移植ができるということで、今月7日から再入院し、白馬について祈ってくださいとのこと。お祈りください。

馳浩・前文科大臣、 笠浩史・元文科副大臣（民進党）、 チア・マガジン 44号の推薦文 を了承

国会も今月中旬以降、多様な教育をめぐる法案が審議入りする見込みで、11日、17日と、馳浩・前文科大臣との面談の時を持たせていただきました。衆参の文科委員会審議に向けてのチア提案について、良いアドバイスも授けてくれました。

今月下旬までに、「チア・マガジン 44号 特集 続・多様な教育をめぐる『教育機会確保法案』——その後の240日間の舞台裏」を717名の衆参全議員に贈呈させていただこうと考えています。

その贈呈に向けて、今回は河村建夫・元官房長官（元文科大臣）が推薦文を書いてくださいました。今回は、馳前文科大臣が引き受けてくださいました。

また、24日には、笠浩史・元文科大臣（民進党国会対策委員長代理）のパーティーに出席し、やはり推薦文の快諾をいただくことができました。こうした展開は、心から神さまの奇蹟だと思えます。また、皆さんのお祈りとサポートのお陰でもあります。ありがとうございます。



馳浩前文科大臣「チア・につぼんドラフト入回記者会見みたいだなー（笑）。左は伊澤聡一郎さん（CSS コーチ）」



「（稲葉）チアの推薦文、お願いしていいですか？」
「（笠浩史・元文科大臣）もちろんです！」

今度の法案は、私たちチャーチ&ホームスクーラーたちにとって、良い方向に進んでいると思います。チャーチ&ホームスクーリングの環境整備が、ますます進んでいきますよう、一層、お祈りいただければ幸いです。

試練の意味を信じる心の強さ

「主を恐れよ。その聖徒たちよ。……主を尋ね求める者は、良いものに何一つ欠けることはない」（詩篇 34：9、10）

「待ち望め。主を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め。主を」(詩篇 27:14)

試練には意味があると確信し、主を待ち望み、雄々しくあれよう、心を強くできるように、主を尋ね求めていければと示されます。自分の失敗を反省し、心から悔いて赦しを求め、またすべての上に置かれた神さまの御手に感謝する心が与えられるように、祈っていければと思っています。

「祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります」(マルコ 11:24)

神さまが喜ぶ求めができるように祈り、主と共に雄々しく歩んで行けるよう、信じていければと思います。

思い通りにいかないことにぶつかる時にも、

すべて感謝し、一層の恵みへのドアが開かれ、恵みと勝利を「受けたと信じ」ていければと祈ります。

楽しみな白馬セミナーも、いよいよ近づきました。並行して、国会もいよいよ山場です。バイブルミュージアムの関係アイテムの輸入手続きも、勉強しながら続けています。

白馬セミナーへのご参加、どうぞ、お祈りください。きっと素晴らしい会になるのではと思っています。また、どうしても来られない皆様は、ぜひ、神さまの祝福を祈ってください。

皆様へのますますの祝福を心から祈っています。

稲葉寛夫

< NL160号 36 ページの印刷ミスのお詫び >

「先月のニュースレター、気づいたことありますか?」と、先日のCSS保護者会で聞いてみました。「あります! 最後のページ、白紙でした!」「寂しかったです」「メモ欄になったのかな、と…」と皆さん、次々とおっしゃってくださいました。NLが配達された翌日だったのに、そのように気づいてくださってうれしくもありました。全国の読者の皆さんも、「これは何かミスがあったなー」とほほ笑んでくださった方も多いのではと思います。160号の最後の36ページ目が、白紙のまま、郵送されてしまいました。謹んでお詫びします。

ニュースレターの印刷は、15年余り、北区のワールド印刷さんにお世話になっています。いつも私たちとチームになって対応くださり、とても良き印刷をスピーディーに行ってください、大変お世話になっています。しかし、「今回、チアとの15年の歴史で初めてミスが出て、白紙となっていたことを社員の誰も気づかず、そのまま発送してしまいました」とのことでした。

「すべての事について、感謝しなさい」(1テサロニケ 5:18)とあるように、これも感謝し、前向きに受け止めています。私たちの反省としては、いつも、ぎりぎりのスケジュールでお願いしていたことです。ワールド印刷さんは、いつもフレキシブルに応じてくださり、超特急の特別なご対応をしてくださっていました。本当に良きパートナーとして尽力くださっていましたが、こうした点も、今回のことへの遠因になったかなと思っています。今後、スケジュール的にも余裕をもって印刷していただけるように、私どもも努力をしたいと思っています。

特に36ページ目は、皆様への会計報告や、白馬セミナー等のチア・カレンダーと一緒に、株式会社ヨーゼフ様刊行の『発達障害の治療の試み』(柏崎良子/柏崎久雄ご夫妻著)の広告記事がありました。柏崎先生ご夫妻も、長年、チア・につぼんの働きをあたたくサポートし続けてくださっています。今回のミスを、この場をお借りして謹んでお詫び申し上げます。尚、会計報告は、今号分と合わせて、本紙36ページに掲載させていただきます。

ホームスクーリングライフは山あり、谷ありで、私どもに様々なミスがあります。神さまのあわれみと恵みと赦しの中での歩みです。皆様のご理解とご忍耐を心から感謝します。

チャーチ & ホームスクーリング ★励ましとチャレンジセミナー in 白馬 2016★

11月17日(木)	11月18日(金)	11月19日(土)
	起床 朝食 (6:30-8:30)	
	賛美&Information : 9:15- 【基調講演3】 9:30-10:15 イスラエル・ウェイン氏 Israel Wayne 【基調講演4】 10:25-11:10 マイク・ドネリー弁護士 Mike Donnelly 【分科会2】 11:25-12:15 2-1 イスラエル 2-6 吉村 2-2 マイク 2-7 GrapeSEED 2-3 ジョイス 2-8 清野 2-4 稲葉 2-5 赤林・大垣 (予約制)	賛美&Information : 8:50- 【分科会4】 9:20-10:10 4-1 イスラエル 4-6 辻 4-2 マイク 4-7 山川 4-3 ジョイス 4-8 伊澤 4-4 田村 4-5 赤林・大垣 (予約制) 【分科会5】 10:25-11:15 5-1 イスラエル 5-6 宇佐神 5-2 マイク 5-7 CSS 5-3 ジョイス 5-8 平岡 5-4 森山 5-9 GrapeSEED 5-5 赤林・大垣 (予約制)
	昼食 12:20-13:20 (自由時間&おふるタイム) *オプション13:30口ビー集合 【第一回同窓会開催!】 13:45-14:20 同窓会記念講演 「国政」(マイク・ドネリー弁護士) 14:20-14:40 「ゲーム大会」 14:40-15:30 「ホームスクーラー ドロップアウト」ドキュメンタリー映 画鑑賞&ディスカッション 15:30-16:20 同窓会/ティーン・ リユニオン②	チルミニ賛美 & 閉会礼拝 11:40-12:40 12:40 昼食を配り解散
受付 12:00-14:20 賛美&Opening 14:20-14:40 【基調講演1】 14:55-15:55 イスラエル・ウェイン氏 Israel Wayne 【基調講演2】 16:10-17:10 マイク・ドネリー弁護士 Mike Donnelly	夕食 16:45-18:30	
夕食 17:30-19:10	賛美&カーレース大会 18:40-19:20 【基調講演5】 19:25-20:15 稲葉 寛夫 「OB・OGパネルディスカッション」	
賛美&読書感想文表彰式 19:20-19:50 【分科会1】 20:05-20:55 1-1 イスラエル 1-6 那須 1-2 マイク 1-7 堀井 1-3 ジョイス 1-8 宇佐神 1-4 鈴木 1-5 赤林・大垣 (予約制)	【分科会3】 20:25-21:15 3-1 イスラエル 3-6 竿代 3-2 マイク 3-7 CSS 3-3 ジョイス 3-8 佐野 3-4 ピーター 3-5 赤林・大垣 (予約制)	
21:10-21:30 各社2分間PR 21:30-22:10 同窓会記念講演 「結婚」(イスラエル・ウェイン氏) 22:10-22:50 同窓会/ティーン・ リユニオン①	21:35-22:10 同窓会記念講演 「職業」(イスラエル・ウェイン氏) 22:10-22:25 「伝道」(森山 剛) 22:25-23:00 同窓会/ティーン・ リユニオン③	

白馬セミナー 2016

基調講演・分科会 抄録 (分科会順・敬称略)

【基調講演 1】

- 「教育について神はどう考えておられるのか」
Education: Does God Have An Opinion?
イスラエル・ウェイン

教育とは中立のテーマなののでしょうか？神は、子どもたちがどのように教育されることを好んでおられるのでしょうか？聖書は学校教育について何と言っていますか？教育の唯一正しい方法というものがあるのでしょうか？クリスチャンにとって公立学校は選択が可能なものなのでしょうか？この興味をそそるプレゼンテーションにおいて、これらの疑問と更なる疑問について説明します。

Is Education a neutral subject? Does God have a preference for how He wants children to be educated? What does the Bible teach about schooling? Is there one correct path for education? Are public schools a viable option for Christians? These questions and more will be discussed in this engaging presentation.

【基調講演 2】

- 「親の権利に危機が忍び寄る」
Parents' Rights—A Crisis Is Coming
マイク・ドネリー

1923年、アメリカ合衆国最高裁判所は、子どもの教育を導き育てる基本的な権利はその親にあるとの判決を下しました。今なぜ世界各地で親の権利が突然、危険にさらされているのでしょうか？HSLDAの弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏が、ホームスクールの自由に対する次なる大きな攻撃と、それに対して皆さんができることは何かについて語ります。

In 1923, the United States Supreme Court ruled that parents have the fundamental right to direct the education and upbringing of their children. So why are parental rights suddenly endangered? Come hear HSLDA attorney and homeschooling father Michael Donnelly discuss the next biggest threat to homeschool freedom and what you can do about it.

【基調講演 3】

- 「聖書が教える『親の権利』」
The Biblical Basis for Parental Rights
イスラエル・ウェイン

子どもたちは誰のものですか？国は、あなたの子どもの教育に対して切実な関心を持っているのでしょうか？ホームスクーリングをする親としてのあなたの権利は何ですか？もし、民生委員が突然あなたの玄関先に来たら、あなたはどうか心得ていますか？ホームスクーリングを選択したとき、多くの親が投獄され、子どもたちは家から取り除かれるという現実直面した初期のホームスクール・ムーブメントから、自分の体験談と洞察を分かち合います。対立に立ち向かうために、どのように備えるかを学びます。

Who owns the children? Does the state have a compelling interest in your child's education? What are your rights as a homeschooling parent? Do you know what to do if a social worker shows up for an unexpected visit? Israel shares personal stories and insights from the early days of the homeschooling movement when many parents faced jail and the removal of their children from the home if they chose to home educate. Learn how to equip yourself to stand against opposition.

【基調講演 4】

- 「もし壊れたら直しなさい！」
—問題を隠さないで解決すること
If It's Broke, Fix it!
マイク・ドネリー

ホームスクーリングをしている家族は多くの困難に直面しています。経済的、感情的、そして肉体的な要求が、私たちの人間関係、家族関係に多くのしかかってきています。ホームスクーリングのコミュニティーは、結婚生活の破綻や崩れていく子どもたちといった私たちの社会が直面している問題の影響を受けないわけではありません。しかし、壊れてしまった関係を修復するのに遅すぎることは決してありません。これらの複雑で重大

な問題を「修復する」ために必要な本質的な要因に向き合うより、その痛みを隠す方が簡単かもしれませんが。HSLDAの弁護士であり、7人の子どもたちをホームスクーリング中の父親であるマイク・ドネリー氏は、崩壊した家庭の中で育った体験から、生活のプレッシャーやストレスの真ただ中においても、ホームスクーリング家族が一体となつてつながり続けるために助けとなる必須材料を探索します。

Homeschooling families face many challenges. Financial, emotional, and physical demands put significant strain on our relationships and our families. The homeschooling community is not immune to the problems facing our society, including broken marriages and broken children. But, it's never too late to try to fix something that's broken. It may be easier to try to hide the pain than to confront essential elements required for "fixing" these complex and serious issues. HSLDA Staff Attorney and homeschooling father of seven Michael Donnelly was raised in a broken home and will explore the necessary ingredients to helping homeschooling families stay connected and whole amidst the pressures and stresses of life.

【基調講演 5】

■ OB/OG パネルディスカッション

「もしも、もう一度ホームスクーリングするなら、やるべきだったこと&よかったので必ずキープしたいこと-全国バージョン！」

稲葉 寛夫

9月、同窓会準備会（東京）に集まった11名のOB/OGによるパネルディスカッションを開催。「わくわく合宿」に参加した約100名の保護者&後輩&サポーターたちが「励まされた！」と大好評だったディスカッションの全国版です。「ホームスクーリング、感謝！周囲から評価高い」「でも悩む事あり」ほか、正直で熱いトークと神さまにあって育った「実」のありのままの姿に、励まされる新しいセッションです。

【分科会 1】

1-1 ■ 「地の塩、世の光の家族となるために」

Being Salt & Light Families

イスラエル・ウェイン

ホームスクーラーとして私たちがよく疑われることは、私たちが社会に影響を与える代わりに、社会から退いているのではないかということです。子どもたちを保護することと、私たちの周りにある堕落した世界に接触することの間にあるバランスとは何でしょうか？このセッションでは、家族によるミニストリーを展開させることで、子どもたちを「実社会」に備えさせる方法を説明します。

As homeschoolers, we are often accused of retreating from society instead of impacting it. What is the balance between sheltering our children and reaching out to a lost world around us? In this session, Israel explains how you can equip your children for the 'real world' by developing a family ministry.

1-2 ■ 「ヒトラー主義の遺産？ドイツ政府・世界各国のホームスクーリングへの扱い」 A Hitlerian Legacy? Germany's Treatment of Homeschooling マイク・ドネリー

ドイツのホームスクーラーたちは、罰金や投獄、それよりもっとひどい処罰をされると脅かされています。もしホームスクーリングが基本的人権であるなら、なぜ文明国がホームスクーラーたちをこのように脅かすのでしょうか？この国と似たような社会とは何で、なぜ、ドイツの裁判官や政治家たちはホームスクーラーたちを恐れるのでしょうか？ドイツのホームスクーラーたちの体験は、アメリカや世界各国のホームスクーラーたちにとって暗黒時代の瀬戸際なののでしょうか？この悪質なドイツの思想は、大西洋を横切ってアメリカ、そして日本までやってきて、アメリカのホームスクーリング初期に体験した困難さを再び強いることになるのでしょうか？ドイツにいるホームスクーラーの兄弟姉妹にとって好ましい変化をもたらすサポートとしてHSLDAは何をしているのでしょうか？そして、皆さんにできることは何でしょうか？HSLDAで国際部門の担当弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏が、これらの重要な疑問に答えます。

German homeschoolers are threatened with fines, jail and worse. If homeschooling is a human right, why does a civilized nation treat homeschoolers like this? What are parallel societies and why are German judges and policy makers so afraid of them? Is the German homeschool experience the edge of

night for America? Could this pernicious German philosophy make its way across the Atlantic to America and re-impose the difficult early days of American homeschooling? What is HSLDA doing to support positive change for our brother and sister homeschoolers in Germany, and what can you do to help? Come hear HSLDA staff attorney for Germany and homeschooling father Michael Donnelly answer these important questions.

1-3 ■ どうして両親は子どもが抱える見えない障害を理解するのが難しいのか？

Why do parents have difficulties to understand their children's invisible disabilities?

ジョイス イノウエ

この分科会では、個人の持つ障害を正確に認識し、神から与えられた子どもの長所を見つけ出す方法を提示します。そして、子どもたちの長所を励まし、それを際立たせつつ、どのように子どもたちの弱点を修正するかを教えます。誤診され、誤解されることによる深刻な影響、不正確な検査の危険性、正しく行われなければ、正式な検査がなぜ不正確になり得るかについてお話しします。

This workshop will show you how to recognize invisible disabilities accurately, determine your child's God given strengths, and teach you how to remediate their weaknesses while encouraging and emphasizing their strengths. We will talk about the serious effects of being misdiagnosed and misunderstood, and the dangers of inaccurate testing and why formal testing can be inaccurate if not done correctly.

1-4 ■ 「シングルでもできました。ホームスクーリング！ほんとうに値打ちがありました！」

鈴木 啓子

主人が召された後、その現実の中で私は無我夢中でした。頑張って頑張っていました。しかし喪失感とともに現実的な不足にぶつかる度、私は恐れでいっぱいでした。解決策（逃れる道）と援助物資（物と人と知恵）を求めて主に叫ぶ毎日でした。しかし憐れみ深い主は、私を苦しみの中で主ご自身を求めようと導きなさいました。主は私を命のパンで養い、心を満たし、私の自己中心を取り扱い、困難のはるか上を飛ぶようになさったのです。今晚はそんなお証をお分かちし、さらに主

にひざまづいて祈る時を持ちたいと思います。

1-5 ■ 「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制）

赤林 英夫・大垣 昌夫

1-6 ■ 「那須家のホームスクーリング 13 年目

－道のり様々、個性様々」

那須 清志&百合美

2004年4月より始まったホームスクーリングも13年目になりました。長男（24歳）は大学4回で来春より社会人、長女（22歳）は看護師2年目、次女（20歳）は2年間の留学を終え通信制の大学に編入し3回生、次男（18歳）は大学進学を目指し予備校生、三女（16歳）も置かれたフィールドで主に仕えようとしています。HS終盤と言っても、家族としてなすべきことはまだまだあります。13年間、ホームという同じ環境で学びつつも、教会や社会との関わりも増え、主から与えられた個性が益々顕著になってきました。今回は、久しぶりに参加する長男からもこれまでの歩みや主から教えられたことをレポートしてもらいます。

1-7 ■ 「ホームスクール 10 年目」

堀井 卓&ユリ

私たち家族がホームスクールを始めるきっかけになったのが、2006年の白馬セミナーです。当時、長男5年生、次男3年生、長女年長でしたが、ホームスクールに対してほとんど知識がなく、「なんか学校に行けなくてかわいそうだね。」と話していたこともありましたが、しかし、セミナーに参加して私たち家族の考えが全く変わりました。「自分の子どもを他人任せにしない」、「神様を愛する子に育てる」、「家族で共に成長する」それから、10年経ち長男は医療宣教の道を祈りつつ医学部に、次男は福音を伝える道を祈りつつ受験勉強中、長女は幼児に関わる仕事を模索中、三男はサッカー選手を目指して練習、そして四男は忍者になることを夢見ています（笑）。

今年、私たち家族に大きなチャレンジがありました。それは、近所の子もたちに福音を伝えるためにサンデースクールを始めること。「一人でも二人でも近所の子もが来てくれたらいいね。」と手探りで始めたサンデースクールでしたが、多い時は大人も含め30名以上の方が聖書の話聞きに集まって下さっています。汀がチラシを作り、勇士が賛美リード、大使と陽は近所の家を回って友だちを誘い、また、HSの友人家族や、教会のメンバーにも助けられながら続けることができます。ホームスクールのゴール、「子どもの魂の救い」、「キリストの弟子の心を育てる」、そして「世

界宣教」に向かって、毎日の堀井家の様子をお話しさせていただきます。

1-8 ■「聖書の世界観 vs ヒューマニズムの世界観」 宇佐神 実

多くの人は進化論は科学だと考えていますが、これはヒューマニズムという宗教の基本概念で、聖書の世界観を骨抜きにするための道具として用いられています。ヒューマニズムの世界観を知り、聖書の世界観を正しく理解することがいかに重要かを考えます。

【分科会 2】

2-1 ■「カッとなる： 怒りとイライラに満ちた子育てに打ち勝つ」 Pitchin' a Fit: Overcoming Angry and Stress-Out Parenting イスラエル・ウェイン

誰でもある程度は怒りの問題を抱えています。しかし、怒りが、自分の子どもたちと一緒にいるときによく起こるなら、徐々に、親子関係にダメージを与え、あなたの効果を妨げることになります。あなたは、イライラ状態であることはもう嫌だ、家庭が平安な空気に包まれてほしいと思いませんか？この大切な分科会において、解決と実践の方法を学んでください。

Everyone struggles with anger on some level, but when anger is a frequent occurrence with your children, over time, it will damage your relationships and hinder your effectiveness. Are you tired of being stressed-out, and ready to have a peaceful atmosphere in your home? Learn how in this important workshop.

2-2 ■「お父さん、ホームスクーリング家族の リーダーはあなたです」 For You, Dad —Leading Your Homeschool Family マイク・ドネリー

ほとんどのホームスクーリングの家庭において、お母さんが一番重荷を負っています。生活の糧を稼ぐために一日中外で働いているお父さんが、どのようにして負担を分け合うことができるでしょうか？お父さんたちは、今よりたくさんの良い仕事を効率的にするように求められています。神が私たちに与えられた召命として、どのように家族

に影響を与えることができるのでしょうか？HSLDAの弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏の話聞いてください。ホームスクーリングにおける神の国の優先順位と、皆さんの限られた時間と資源に対して増え続ける要求のバランスを保つ実践的アイデアをお話しします。

In most homeschooling families, Mom carries the biggest burden. How can Dad pull a share of the load when he is gone all day earning a living? There are so many other good works dads are asked to do—how can we influence our families as God calls us to do? Come listen to HSLDA attorney and homeschooling father Michael Donnelly, as he discusses Kingdom priorities in homeschooling and practical ideas to balance the increasing demands on your time and resources.

2-3 ■子どもとの共依存か、 または子どもと共に神に依存するのか Co-dependency or God Dependency with Our Children ジョイス イノウエ

共依存とは、あらゆる世代を通して身に付けられている習性です。私たちの心が何かに夢中になっているときに、他者や自分自身に対する責任を忘れてしまい、個人の境界線を引くことも、それを保つこともできなくなります。私たちはクリスチャンの親として、子どもたちの身体的、精神的、感情的、霊的なことに関わっています。また、クリスチャンのホームスクーラーとして、子どもたちの教育面、学問的な進歩にも関与しています。ですから、子どもたちのことで簡単に心が奪われてしまいがちです。しかし、私たちは、このことを健全なレベルに保ちたいと願っています。私たちは、子どもたち、とりわけ、特別なニーズのある子どもたちと共依存関係に陥ることのないように注意しなければなりません。この分科会では、あなたの共依存関係の態度、それがもたらす不健全な影響に気付かせ、共依存を神依存に変えていく方法を学びます。

Co-Dependency is a behavior that is learned throughout the generations. It is when we are so preoccupied we forget our responsibility to others, ourselves and are unable to set and maintain personal boundaries. As Christian parents, we are

involved with our children physically, mentally, emotionally and Spiritually. As Christian homeschoolers we also are involved with their education, and their academic gains. It is very easy to become preoccupied with our children; yet, we want to keep this at a healthy level. We must be careful that we do not become co-dependent on our children, especially the ones with special needs. This workshop will help you to recognize co-dependent behavior, its unhealthy effects, and how to transform such into God Dependency.

2-4 ■ 「チャーチ&ホームスクーリング -必ず聞かれる20の質問」 稲葉 寛夫

「チャーチ&ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分、積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週2時間からできるチャーチ&ホームスクーリングって？」。この16年の全国各地でのセミナーで多かったQ&Aをベースに8時間コースを50分に短縮した、一度は必修のコース！

2-5 ■ 「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制） 赤林 英夫・大垣 昌夫

2-6 ■ 「ホームスクーリングと聖書と 日本文化について考える」 吉村 忠敏&則子

1. 子供に神様を中心にするのを教える。聖書を読むこと、教会に行くこと、洗礼を受けること。それは手段であって、目的ではありません。子どもが自ら神様を中心とした生活をするように教育することが大切だと思います。2. 子供に日本文化の優秀性を身に付けさせる。それは世界でも注目されています。日本の文化、伝統を聖書の価値観から積極的に評価し、子どもに身に付けさせることは、神様に喜ばれることだと思います。3. キリスト教を伝えるのではなく、神様を中心とした生活を伝える。イエス様はそれを「神の国の福音」と呼んでいます。大切なことは宗教ではなく、神様を中心とした生活だと思います。

2-7 ■ 「英語カリキュラム GrapeSEED の 効果的な学習」前半 グレープシティ（藤原 政信）

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気づき、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネントから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々に、より効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われる方々もご参加ください。

【チア事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が対象ですが、チア・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をします（入門コース CD 2 枚組（1000 円+送料）を購入いただくと、GS スタート OK です。チア事務局にお申し込みください）。

2-8 ■ 「地域教会とホームスクール」 清野 基&百合子

HS を実践する親として、HS の家族が多く集まる教会の牧師として、過去 10 年で学んだことを分かち合います。主なトピックは以下のとおりです。

1. HS をする上で、地域教会がいかに大切か
～地域教会なしに、HS なんてできない！～
2. 兄弟姉妹に HS について理解してもらうためには
3. HS 派と学校派が共に主に仕えるためには
4. HS の家族が複数集まる場合の強みと罣
5. HS の子どもたちを不健全な選民意識から守るためには
6. 教会の中で強い反対にあった場合の対処法

【分科会 3】

3-1 ■ 「ホームスクーリングは、女性だけのもの？」 Is Homeschooling Just for Women? イスラエル・ウェイン

多くの男性にとって、ホームスクーリングとは、主に妻たちがするものとして見られてきました。男性（夫）たちの多くは、請求書の支払いさえしていれば、それで神が彼らに期待しておられることのすべてをしていると信じているのです。聖書

的に言うなら、ホームスクーリングにおける男性(夫)たちの正しい役割とは何でしょうか?どのように実践していくのでしょうか。

For many men, homeschooling has been looked at largely as something their wife does. Many believe that if they pay the bills, that is really all that God expects of them. Biblically speaking, what is the proper role for men in the process of home education?

3-2 ■ 「ホームスクーリングは 親の基本的人権・教育の自由」 Homeschooling is a Human Right マイク・ドネリー

ホームスクーリングは合憲合法であり、世界の多くの国々で増え広がっています。しかし、わずかですが、ドイツやその他数ヶ国においては、事実上禁止している国もあります。ホームスクーリングは基本的人権でないのでしょうか?なぜ裁判官は、ホームスクーリングを禁止することを、その国の憲法、あるいは、国際人権法に反するにも関わらず容認の判決を下したのでしょうか?なぜドイツはホームスクーリングを禁止するのでしょうか?この見解の相違は、ホームスクーリングの権利について、また、これらの裁判所の判決について何を意味しているのでしょうか?基本的人権は個の自由を保証するものです。思想・信条の一致という目的のために国が教育を支配することを正当化したり、あるいは認可したりする制度は、自由な民主主義国家の理念の根幹を揺るがす個人の尊厳への国家介入であり、統制主義です。この分科会で、ホームスクーリングが、どの国においても守られなければならない、親と子どもにとっての基本的人権であることを明確に立証します。

Homeschooling is legal and growing in many countries but is virtually forbidden by law in Germany and a few others. Is home education a human right? Why do Judges find that banning home education is acceptable under their constitution or under international human rights standards? Why does Germany forbid home education? What does this divergence imply about the right of home education and the jurisprudence of these courts? The promise of human rights is individual liberty so a system that justifies or endorses state control of education for the purpose of cultural conformity is too statist for a free and democratic society. In this

presentation I will make the case that home education is a human right of parents and children that must be protected by everywhere.

3-3 ■ 両親の失敗を実りに変える四つの励まし Four Empowering Ways to Turn Parent's Failure into Fruit ジョイス イノウエ

特別なニーズのある子どもたちが私たち親をイライラさせ困らせるとき、あるいは、ホームスクーリングで学習困難に直面するとき、私たちは失敗者になったように感じます。あれで良かったのだろうか、十分に手を尽くさなかったのではないかと、子どもたちにとって自分はふさわしくないのではないかと、私たちの恐れを大きくさせます。そして、イライラし、混乱し、怒り、落ち込んでしまいます。私たちは毎日、特に、時間内に宿題をさせることもできなかったときには、子どもたちを失敗させたような気がします。この分科会に来て、どんな「失敗」も「実」に変わる、4つの単純な方法を発見してください。この分科会は人生の転機となるでしょう。

When our children with Special Needs frustrate and overwhelm us, or struggle to learn as we homeschool, we feel like we are failures. We second guess our abilities and feed our fears that we are not doing enough, or not good for our children. We become frustrated, confused, angry and depressed. We feel like we fail our children every day, especially when we can't even get them to focus on an assignment within the hour. Come to this workshop to discover five simple ways to transform any "failures" into "Fruit". This workshop will be life transforming.

3-4 ■ 「国際性のための日本語教育」 Japanese Language Education for Global Mindedness ピーター・ブロックソム

昨今、日本国内においても英語力が求められるようになり、特に学校教育の現場において英語教育の重要度が高まりつつあります。しかし、私たちは今一度、日本人のための日本語教育について考える必要があるのではないのでしょうか。グローバル人材育成の必要が声高に叫ばれる中、私たちは日本語能力が本人の国際性に与える影響の大きさを再認識する必要があるでしょう。母国の文化

や言語を犠牲にするのではなく、それらに拠って立つグローバリズムの形を皆さんと考えたいと思います。

In recent years, English language education is gaining more importance, especially in a school setting, due to the increasing needs for English proficiency in Japanese society. Yet, now is the time for us to re-emphasize Japanese language education for Japanese. Despite the strong arguments for global human resource development, we should never underestimate Japanese proficiency's contribution to Japanese's international mindedness. I look forward to discussing with you the nature of globalism that stands on people's mother language and culture instead of sacrificing them.

3-5 ■ 「経済実験（慶應義塾大学）」（予約制）

赤林 英夫・大垣 昌夫

3-6 ■ 「ホームスクールの変化について」

竿代 健

長男が3歳の時に主夫となり、ホームスクールに取り組み始め9年目になりました。9年間を振り返ってみると、変わったこともありますし、あまり変わらないこともあります。ホームスクールが、子どもの成長と共にどう変化するのか、興味を持ちましたので、普段交わりのあるホームスクーラー数家族と話をする機会を持ちました。「親や周囲の理解」「自由時間の使い方」「習い事や体育、芸術への対応」「勉強の持ち方」「礼拝の持ち方」などの項目について、我が家の変化を中心に、あわせて、他のホームスクーラーの変化についても紹介したいと思います。

3-7 ■ 「効果的に、恐れずに、親子で勉強に取り組める！半年が過ぎたホームスクーラーの勉強ワクワク大作戦！（総合篇）」

稲葉寛夫・堀井卓・伊澤聡一郎&恵美

チア・サポートスクール（CSS）で今春から始まった「ワクワク大作戦！」で半年が過ぎました。2度のワクワク合宿も祝福され、CSS生はもちろん、全国のホームスクーラーの皆さんにも、成果や効果が見え始めています。

具体的に以下のポイントに基づく、ホームスクーリングライフの新しいサポートと、実社会で伝道のインパクトを与えるための実力アップに取り

組んでいます。受験や勉強を恐れるに足らず、主を見上げて、しかも効果的に鍛錬していこう、ということです。

①天国・未来からの挑戦！今年・今月・今週・今日、何をすべきか、ロードマップ作り

②今の実力を知るテスト/合宿でも大好評！始まる前の暗算テスト

③基礎力重視の学習法のヒント提供と勉強サポート（小学生は聖書・漢字/読書・四則計算・英語（GrapeSEED等）で徹底的に基礎固め！中高生は聖書・伝道・英語（多読）・数学（体系数学）等、取り組み例の紹介）

見えてきたのは、「親のサポート・伴走がティーンの学力・信仰を伸ばす」というポイント。「微分・積分」を一緒に勉強しなくてもOK！親が寄り添って励ますことが、大きな力になるというホームスクーリングの真髄を別角度から確認できました。そして、「ホームスクーリングこそ、最高・最新の学習法」であったことの再発見！さらに「英語多読」から、「日本語多読」への発展や、「全国・海外の通信制（ファミランコース）の効果アップ」、「集中力をアップさせる方法」ほか、多方面で着実に、新しい成長が見られています。とはいえ、まだまだ道半ば。

チアの3つの強い目的、「魂の救い」「キリストの弟子のこころを与える」「伝道・世界宣教」を心に刻みつつ、挑戦の日々が続いています。240日間の検証結果を分かち合いますので、皆さんへの神様の導き、ニーズや状況に合わせて自由にカスタマイズくださり、チャーチ&ホームスクーリング・将来の伝道への準備展開の強化策として用いてくださればと思います。

3-8 ■ 「白紙で始めたホームスクーリング

－その5年後－

佐野 章人&喜枝子

私達は将来のことが何も分からない白紙の状態、ホームスクーリングに飛び込みました。焦り、恐れが襲ってきても、その中で神様は、勉強、進路、交わりなど、一つ一つを備えてくださいました。佐野家（長女（高2）、次女（小4）、長男（年長））のホームスクーリングそれぞれの面を、具体的にお話しします。長女のまひろ（17）にも、ホームスクーリングを通してどのように変わったかを、証ししてもらいます。

【分科会4】

4-1 ■ 「クリスチャンの親がよくする、

よくある失敗」

Common Mistakes Christian Parents Make イスラエル・ウェイン

多くの善意ある親たちでも、自分の子どもたちと関わる時、悪影響を与えるような失敗をしてしまいます。そしてこれらの失敗は、多くの場合、子どもたちに苦々しい思いをもたらす一因となります。そのうちに、子どもたちのその苦々しい思いが、自分たちの親と親の価値観への拒絶につながる可能性があります。これらの落とし穴を避ける方法を学んでください。

Many well-intentioned parents make harmful mistakes as they relate to their children. These mistakes often contribute to bitterness in their children. Over time, they can result in children rejecting their parent and their values. Learn to avoid these pitfalls.

4-2 ■ 「少しずつ前進 – 21世紀の実習 (就職と召命への備えというプロセス)」 Forging Ahead—Apprenticeships in the 21st Century マイク・ドネリー

大学ですか？ホームスクーラーたちは、強制的に大学に行かされるティーンに比べれば、より目的意識が高く、大学等進学への心の備えを整えやすいとも言えますが、だからと言って、自動的に「大学行きベルトコンベヤー」に吸い込まれるべきではありません。もし大学に行かない選択をするなら、明瞭で、よく教育された社会性のあるホームスクーラーたちはどうしたらいいのでしょうか？あるいは、ホームスクーラーたちが就職と召命への備えをする過程において、彼らを助け導くための援助や見習い訓練はどこで見つけたらいいのでしょうか？HSLDAの弁護士であり、ホームスクーリング中の父親でもあるマイク・ドネリー氏の話の中で、実践的なヒントや洞察に満ちたアドバイスを受け取ってください。

College? Homeschoolers may be better prepared for it than many other college-bound teens, but that doesn't mean they should automatically get sucked into the "college conveyor belt." But if not college, what do we do with our bright, well-educated, well-socialized homeschooled students? And where do we find resources and apprenticeships to help guide homeschoolers through this process of vocational preparation and calling? Get

practical tips and insightful advice in this talk by HSLDA attorney and homeschooling father Michael Donnelly.

4-3 ■ 私たちの舌の力 The Power of Our Tongues ジョイス イノウエ

聖書は舌の「力」について語っています。私たちが言うことが「生」か「死」をもたらすことができます（箴言 18 : 21）。ホームスクーリングをする親として、私たちは常に子供たちに向かって話し、教え、導き、案内し、忠告しています。私たちの希望と願いは、子どもたちが学んで祝福されることです。私たちは子どもたちを力付けたいと思っています。しかし時には、私たちが願っていないやり方で語ってしまうことがあります。それは、忍耐力がいつもより欠けている日、打ちのめされている日によくあります。私たちの言葉が神の国を建て上げる言葉に変えられるために、この分科会に来てください。学習障害、ADHD、自閉症、特別なニーズを持つ子どもたちのために、あるいは、特別なニーズのない子供たちのためにも必要なことです。なぜなら、私たちの語ることは、耳よりももっと深くに侵入するからです。それは、子どもたちの心に鳴り響くのです。

The Bible speaks on the "power" of the tongue. What we say can either bring "Life" or "death" (Proverbs 18:21) As parents who homeschool, we are constantly talking, teaching, leading, guiding and exhorting our children. Our hope and desire is for them to learn and be blessed. We want to empower our children. But sometimes, we speak in ways that we don't wish to. Often, it is on those days when we are a little less patient, and very overwhelmed. Come to this workshop to transform our words into Kingdom building words for our children with Learning Disabilities, ADHD, Autism and Special Needs or without any special needs because what we say, penetrates far deeper than the ear. It resounds in our children's hearts.

4-4 ■ 「ホームスクールの目的」 田村 正幸

まず、クリスチャンとは主に従う者たちです。サタンの働きとは、主の言葉を一つ一つひっくり返し、主に従わせないようにする働きです。主が

はっきりと命令されたことは何でしょう。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を述べ伝えなさい。」(マルコ 16:15) ホームスクールの目的もこのためにあります。目的を見失わずに、神様の言葉に従いましょう。そして、私たちが日々生きていく中で必要な教えは、すべて聖書の中に書かれています。子育ての仕方、夫婦の関係、日々の判断など、どうぞ静まって聖書を読み、教えを求めてください。

4-5 ■ 「経済実験 (慶應義塾大学)」 (予約制) 赤林 英夫・大垣 昌夫

4-6 ■ 「ステップアップするホームスクーリング-思春期編」 辻 寿&奈央子

思春期の子どもたちをホームスクールで育てることの素晴らしさ、私たち夫婦が大切にしていること、これまでにはなかったチャレンジについて分かち合います。小学生の時にしてきた土台作りの中で、これはやっておいてよかった、これはやらなくてもよかった (!?) と思えた経験談 & 失敗談も交えて夫婦でお話しします。

4-7 ■ 「チャーチ&ホームスクール12年目」 山川 哲平&真紀子

山川家は、現在9人の子どもたちとホームスクール中。週3日でチャーチスクールを4家族程で行っています。具体的な出来事や、証し、子どもたちの成長についてシェアします。教会とホームスクール。祈りの家等。

4-8 ■ 「わが家流 GrapeSEED 活用法 Part2」 伊澤 聡一郎&恵美

HS 開始と同時に GrapeSEED を始めたわが家。張り切って始めたものの、目に見える結果がなかなか見えず、挫折しかけたことも数知れず。しかし、約5年の時を経た今、文法や話し方は教えなかったのに、子どもたちは親が驚くほど英語を話すようになり、今では、GrapeSEED は、普通の日本人家庭で子どもに英語を習得させるのに、最善最強のカリキュラムであると確信しています。今回は、スカイプ英会話の活用、英語多読、英単語の増やし方等、GrapeSEED に加えて、わが家で実践してきた具体的な取り組みを中心にご紹介します。

【分科会5】

5-1 ■ 「励ましの力 (子どもたちを動機づけるために)」 The Power of Affirmation イスラエル・ウェイン

子どもたちにやる気を起こさせ、動機づけをしようと試みるとき、多くの場合、二つの力が働きます。肯定的な強化と否定的な強化です。このセッションでは、やる気のない子どもを励まして動機づける方法として、肯定することの重要性について説明します。実践的、かつ聖書的な例話を引用しつつ、このセッションは、大切な家族のきずなを育みながら知識を授けていく、その大きな助けとなると思います。これらの大切な相関的つながりを保つ助けとなるでしょう。

When you are trying to inspire and motivate children, there are two forces that are often exerted: Positive and Negative Reinforcement. In this session, Israel explains the importance of Affirmation as a way to inspire and motivate your reluctant child. Drawing from practical and Biblical examples, this session will help you to keep those important relational connections as you are attempting to impart knowledge.

5-2 ■ 「創始者たちの信仰-自由か、 さもなければ死を！王ならば、キリストを！」 Faith of Our Founders マイク・ドネリー

1775年、パトリック・ヘンリーは、「自由を与えよ。然らずんば死を！」と語りました。周知の通り、アメリカ合衆国建国者たちのほとんどは、自由とは、クリスチャンの自由を意味するということを理解したクリスチャンたちでした。しかし、私たちの土台のどの程度が、建国者たちの信仰だったのでしょうか？ ジョン・ハンコックとジョン・アダムズの戦いにおける叫びは、「王ならば、キリストを！」でした。一方、世俗の歴史家たちは、建国者たちの信仰の影響を最小限に抑えようとしたのですが、実際は93%の建国者たちがキリストの信仰者たちでした。もし、私たちが、こうした遺産を回復しなければ、私たちの歴史認識は危機的なものになります。日本のホームスクーラーの皆さんにとっても、そのルーツにも、将来にも関わる大事な情報のセッションになると思います。マイク・ドネリー氏はHSLDAの弁護士であり、パトリック・ヘンリー大学の非常勤教授として憲法学を教えています。彼が我々ホームスクーラーの創始者の信仰の真実と意図を明るみに出すのを

お聞きください。

In 1775 Patrick Henry said “give me liberty or give me death.” You know that the founders of our country were mostly Christian men who understood that liberty meant Christian liberty. But how much a part of our founding was the faith of our founders? John Hancock and John Adams’ battle cry was one of “No King but King Jesus.” While secular historians want to minimize the impact of the founders’ faith, the truth is that 93% of the founders were members of Christian churches. A knowledge of our history is critical if we are to ever recover our nation’s heritage. Michael Donnelly is an HSLDA Attorney and an Adjunct Professor at Patrick Henry College where he teaches constitutional law. Listen as he unearths the truth and import of the Faith of Our Founders.

5-3 ■ 子どもたちの中にある神の宝を探し出す
Seeking God’s Treasures in Your Children
ジョイス イノウエ

子どもたちが弱いとき、それが学業面であっても、身体的、あるいは精神的な面であっても、私たちはすぐに、子どもたちは強くないと考えてしまいます。私たちは弱点とは長所の反対であることを知っています。特に子どもたちに学習困難(失読症、計算力障害、学習障害)、あるいは、神経学的問題(ADHD、自閉症)や行動問題(衝動性、反抗的な態度、落ち込み、低いセルフイメージ)があるときには、子どもたちの弱さを心配します。私たちの祈りは、この弱さの向きを変えることです。そうすれば、子どもたちがゴールに到達し、自分に自信を持ってセルフイメージを築くことができるようになるでしょう。この分科会で、あなたの思いが真実なものに変えられますように。自分の健康問題という弱さの旅を通して神に与えられた多くの真理を分かち合います。そして、弱いことは強いことの反対ではないことを、どのように神が示してくださったかを証します。

When our children are weak, whether it is academically, physically or mentally, we immediately think they are not strong. We know weakness as the opposite of strength. We especially are concerned in our children’s weakness when they have learning challenges (Dyslexia, Dyscalculia, Learning Disabilities) or neurological problems (ADHD, Autism) and

behavioral issues (Impulsivity, Defiance, Depression, low self images). Our prayers are to turn this weakness around, so they can reach their goals and build their self-image by feeling good about themselves. Come to this workshop to transform your minds into what is TRUE. Joyce will be sharing how God has given her many Truths in her our journey of weakness due to her health issues. She will testify how God has shown her being weak is not the opposite of being strong.

5-4 ■ 『将来のビジョンとホームスクーリングに於けるキリストの弟子づくり』～主の熱心がこれを成し遂げる～

森山 剛&有佳子

この3年取り組んできた、「フェイスタイム(父と子のマンツーマンの時間)」によって、子どもたちの将来のビジョンが見えてきつつあります。フェイスタイムで使っている「弟子づくりプランシート」を紹介します。このシートにより、賜物・特技・関心・苦手・強さ・弱さなど、将来のビジョンに対して、キリストの弟子としての成長課題と取り組みが見えてきます。更に、ホームスクーリングの目的を常に明確にしつつ、「父と子」「夫と妻」の絆を深めることにも役立っています。娘・佳音の証しと、日々子どもたちの生活や勉強への取り組みに際して、特に気を付けていることを、母の視点でもお分かちさせていただきます。参加者には実際にこのシートを体験していただきます。

5-5 ■ 「経済実験(慶應義塾大学)」(予約制)
赤林 英夫・大垣 昌夫

5-6 ■ 「創造され召された目的」
宇佐神 実

人は完全なことをなせる創造主に造られた存在であるという事実に基づいて、私たち大人や次世代を担う子どもたちが、それぞれの選ばれ召された目的を知り、それを行って生きることの大切さを考えます。

5-7 ■ 「親子で勉強に取り組める！ホームスクーラーのワクワク大作戦！(実践編)」
伊澤 聡一郎&恵美

コーチングスタッフとしてCSSチームに加わって6ヶ月。CSSの子どもたちの目の輝きに接すると、彼らが神様の子どもであると強く思われます。彼らが、将来どの道に進んでも、主の証人と

して力強く歩んでいけるように、訓練のお手伝いに全力を尽くしてきました。CSSの歩みは、まだ道半ばですが、それでも、世の中の教育産業の中では、日本 No.1 のコンテンツを提供できるレベルにまで成長してきたと確信しています。CSSが、学校教育や受験対策の後追いではなく、それらを凌駕した真の学力の習得に取り組む場となり、HSの皆さまに対し、親子での学問への取り組みに関する "How" を提供し続ける存在でありたいと願っています。現在のCSSの勉強面での取り組みについて、言語力(国語・英語)、数学を中心に、ご紹介します。

5-8 ■ 『平岡家のドタバタホームスクールとネパールの話』 平岡 真美&恵美香

ホームスクール2年目(長男8歳、長女6歳、二男3歳、次女1歳)。1年目は次女が口蓋裂で生まれ、搾乳等に追われているのを見かねて夫が初の育児休暇をとることに。今年1月からは妻(5人目妊娠中)一人で日常に追われながらホームスクール奮闘中。理想と現実とのギャップに打ちのめされたりしています。まだ形になっていないホームスクールですが、ありのままをお話しできればと思います。また、家族のビジョンである海外宣教を祈り続けてネパールでのソーラープロジェクト

クトに携わり、その振り返りのお話も少しできればと思います。

5-9 ■ 「英語カリキュラム GrapeSEED の効果的な学習」後半 グレープシティ(藤原 政信)

自然な言語発展に従い母語的に英語を習得する。これが GrapeSEED の基本理念です。効率よく英語が覚えられるように英語の特徴の一つである「頻出語」を機能的に学習するメカニズム、日本語と違う英語の音素に気付き、それを身につける練習のためのツールなど、GrapeSEED は様々なコンポーネントから構成されています。今回のセッションでは、現在 GrapeSEED に取り組まれている方々に、より効果的な学習への取り組み方、日頃の学習に関する質疑応答を行います。すでに GrapeSEED に取り組まれている方だけではなくこれから取り組みたいと思われる方々もご参加ください。

【チャ事務局より】初めての方も参加 OK ! GS は、普通は一般の学校等が対象ですが、チャ・メンバーの皆さんには、特別に個人対応をします(入門コース CD 2枚組(1000円+送料)を購入いただくと、GS スタート OK です。チャ事務局にお申し込みください)。

祝！同窓会特別記念講演＆プログラム リアルなニーズに応え、後輩・家族を励まし、本人も励まされる！

-
- 11月17日(木) 21:30-22:10 「本当の愛・結婚を待っている」 Israel Wayne 氏
22:10-22:50 同窓会 / ティーン・リュニオン①
- 11月18日(金) 13:45-14:20 「クリスチャンと国政」
Mike Donnelly 弁護士 Nate Donnelly 稲葉寛夫
- 14:20-14:40 「ゲーム大会」
- 14:40-16:20 「ホームスクーラー ドロップアウト」
ドキュメンタリー映画鑑賞&同窓会 / ティーン・リュニオン②
- 19:25-20:15 OB/OG パネルディスカッション
- 21:35-22:10 同窓会記念講演「人生準備中の青年たちへ」 Israel Wayne 氏
- 22:10-23:00 「伝道」 森山剛 & 同窓会 / ティーン・リュニオン③
-

11月17日(木)

★ 21:30-22:10 「本当の愛・結婚を待っている」 Israel Wayne 氏

自分の人生に神の御心を見出そうと努力している青年・ティーン向けです。神は、自分の伴侶を見つけるといった人生の重要な問題を導いてくださるお方として、本当に信頼できるのでしょ

うか？神があなたのために立てられたご計画は、あなたの最も崇高な夢を上回るものであることを知って驚くかもしれません！若者の人生に大きなインパクトをもたらす、このメッセージを、心からの確信を持って分かち合います。

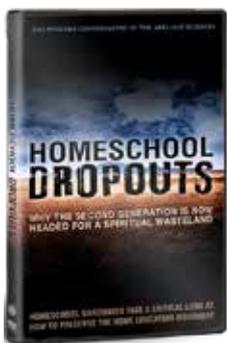
11月18日(金)

★ 13:45-14:20 「クリスチャンと国政」 Mike Donnelly 弁護士 Nate Donnelly 稲葉寛夫

クリスチャンと政治の関わりは微妙なところもあります。日本の福音的な教会においては、タブー、あるいは、教会でのテーマとしては扱われにくい傾向もあるかもしれません。ホームスクーラーには、国政の分野においても特別な使命が与えられています。ホームスクーリングをめぐる、基本的人権、教育・親の権利、学問の自由といった憲法、自然権を根拠に、しばし、自由と法規制との分起点に立たされ、「学習環境」を勝ち取っていく、その「使命」も与えられ、国政との接点が、極めて多いからです。それは単に、ホームスクーリングを守るためだけではなく、将来も自由



に伝道していく基本的人権を守り、聖書的な視点から法制面もリードしていくパイオニアや前衛的な役割も与えられているとも言えます。今回、日ごろ、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）の国際担当弁護士として、ホワイトハウスや上下院議員、また、海外の議員たちとの折衝を続けている Mike 弁護士を迎え、若きホームスクーラーたちが、実社会でどのように、国政や実社会に影響を与えていくか、お話を伺います。アメリカでは、青年ホームスクーラー対象に、政治・法律等に向き合うための「Generation Joshua」という HSLDA のプログラムが人気。今回、来日の Mike 弁護士の息子、間もなく 14 歳の Nate 君も証しをしてくれる予定です。日本の国会、また、「教育機会法案」のアップデートも少しします。



★ 14:40-16:20 「ホームスクーラー ドロップアウト」

ドキュメンタリー映画鑑賞&同窓会 / ティーン・リユニオン②

「第二世代のホームスクーラーたちの数々の問題」に、5人のホームスクーラー兄弟姉（ボキン家族）が心を痛め、取材を進め、ホームスクーリングムーブメントの原点に目を向けていく。今や240万人を超え、アメリカで市民権を得て拡大しているホームスクーリング。その一方で、信仰に燃えた両親の思いと愛情が伝わらず、「結婚後、ホームスクーリングをするかしないか」は、ただの選択肢の一つになっていく、そうした第二世代も少なくない。歴史の浅い日本のホームスクーラーたち（約17年）の中では、どうだろうか。

日本の第二世代にとっても関係あるであろう問題が掘り下げられていく。希望となるのは、この作品を見た若者たちが、聖書の本質に根差したホームスクーリングの原点に目覚め、状況を打破するのは、主と自分なのだと言ふと勇気と励ましを得ていく、そうした反響が多く寄せられている点だ。さて、第一回同窓会では、どんな反響が寄せられるでしょうか、楽しみです！

(どなたでも鑑賞自由です！) 日本語字幕：ホームスクーラー・佐野まひろ (16)

★ 21:35-22:10 「人生準備中の青年たちへ」 Israel Wayne 氏

すべての青年が、高校・大学を卒業する前に聞くべきものです。十代・二十代の時期、数年後の自分の姿が出来上がっていくからです。このメッセージには、すべての青年が努力して得るべき聖書的人格の特徴チェックリストが含まれています。

第一回同窓会 in 白馬 基調講演5

♪ OB・OG パネルディスカッション ♪

「もしも、もう一度ホームスクーリングするなら、やるべきだったこと
&よかったので必ずキープしたいことー全国バージョン！」



★ OB・OG 同窓会参加予定者★

赤津 光輝（東京）、朝比奈 マリナ（東京）、池田 沙耶（宮城）、市川 希望（埼玉）、井上 成美（山形）、今井 洋（宮城）、小畑 百合花（長野）、片岡 恵美（埼玉）、衣笠 ひかり（長野）、衣笠 もえ（長野）、金 サムエル（群馬）、金 喜望（群馬）、小西 春奈（埼玉）、小林 杏奈（長野）、小林 麻里奈（長野）、小林 由梨奈（長野）、小淵 稜（宮城）、清野 言（宮城）、那須

真良樹（大阪）、能登 実里（東京）、堀井 翼（埼玉）、堀井 帆南（東京）、松岡 基（宮城）、湯田 千夏（宮城）、若生 香織（栃木）、若生 ゆり（栃木）…11月3日現在 26名

☆☆祈りで参加します！☆☆

岩佐 希恵（ブラジル）、岩佐 美香（モンゴル）、稲葉 エミリ（ロサンゼルス）、稲葉 真祈史（バージニア州）、小島 宰門（東京）、小林 拓馬（東京）、田中 純花（大阪）、中島 豊（千葉）、中山 基義（東京）、成田 望（北海道）、成田 百合（北海道）…11月3日現在

☆ LIT ☆ & ティーン向けプログラム！



LITではキリストの弟子として

子どもたちを助けていく訓練を受けます。

（14歳以上、24名限定ですが、ウェイティングもまだ受け付けます！）

LIT以外の13歳以上のティーンを対象としたプログラムも昨年に引き続き、計画中です。

新しい出会い、喜びに満ちた楽しいプログラム！ぜひご参加下さい。 →お問い合わせは事務局まで。

大好評につき、LIT定員
満杯になりましたが、ウェイティ
ング受け付けます！

★格安チャーターバス運行決定★ ※完全予約制

1人でも多くの方が参加できるように、チアからの精一杯の応援です！残席わずかとなっています！

●東京往復

(大人/中高生 **¥8,500**、小学生/幼児 **¥7,500**)
11/17 東京 8:00 → ホテル 14:00
11/19 ホテル 13:30 → 東京 18:00

残
18席!

●大阪往復…中型バスへ変更できるか検討中！

(大人/中高生 **¥9,980**、小学生/幼児 **¥8,500**)
11/17 大阪 7:00 → ホテル 14:00
11/19 ホテル 13:30 → 大阪 19:30

残
2席!

☆☆ホテル無料送迎バス☆☆ (長野・白馬町・南小谷・白馬乗鞍) ※完全予約制

＜行き＞

- 長野駅 12:00 発 (約 90 分)
- 南小谷駅 12:05 発、13:10 発
- 白馬町駅 13:30 発
- 白馬乗鞍バス停 12:45 発

＜帰り＞ ホテル出発時間

- 長野駅行き 13:20 発
- 南小谷駅行き 13:45 発
- 白馬町行き 14:50 発

格安チャーターバス (先着 50 名) & ホテル送迎バス申込書

FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com (締切 11/10)

代表者お名前 () 乗車人数 () 名 携帯番号 ()

ご希望のバスに○をつけて下さい 東京バス 大阪バス ホテル送迎バス (※↓)

※ホテル送迎バスの方は、ご希望の場所をご記入ください。 行き () 帰り ()

一般の交通手段のご案内

会場・宿泊先所在地：ホテルグリーンプラザ白馬

長野県北安曇郡小谷村千国乙 12860-1

アクセス情報→ www.hgp.co.jp/inf/Z01/hgp/access.html

★★★電車★★★

新宿駅 (中央本線特急 3 時間 39 分) - 南小谷駅 (片道 ¥7,780 ~)

名古屋駅 (中央本線特急 3 時間 45 分) - 南小谷駅 (片道 ¥6,910 ~)

大阪駅 (北陸本線特急 4 時間 18 分) - 糸魚川駅経由 (片道 ¥10,800 ~)

各方面から新幹線 + 路線電車 - 長野駅

●各駅から無料送迎バス (右上参照)

★★★高速バス★★★

バスタ新宿南口発 8:15 → 白馬町駅着 13:23 (片道 ¥4,850 ~ / 往復 ¥8,700 ~)

バスタ新宿南口発 7:55 → 長野駅着 11:38 (片道 ¥3,200 ~)

新潟駅前発 7:45 → 長野駅着 11:10 (片道 ¥3,290 ~ / 往復 ¥5,970 ~)

大阪・京都・神戸方面 → 長野駅 (片道 ¥6,000 円 ~)

●各駅から無料送迎バス (右上参照)

★★★自動車★★★

中央自動車道経由・長野自動車道安曇野 I C から国道 148 号線約 60 km 約 90 分

上信越自動車道長野 I C よりオリンピック道路・国道 148 号線経由約 60 km 約 90 分

北陸自動車道経由糸魚川 I C から国道 148 号線 約 40 分 ※駐車場完備です！

★★★新幹線【東京ー長野】★★★ (片道 ¥7,680 ~)

行き (11/17) 東京駅発 (あさま 605 号) 9:44 → 長野駅着 11:33 (●送迎バス 12:00 発)

東京駅発 (かがやき 509 号) 10:24 → 長野駅着 11:44 (●送迎バス 12:00 発)

帰り (11/19) ●送迎バス 13:20 ホテル発 長野駅発 (はくたか 566 号) 15:20 → 東京駅着 16:52

長野駅発 (あさま 622 号) 15:23 → 東京駅着 17:12

第9回「レースカーグランプリ大会！」開催！

自作のレースカーで競い合うグランプリ大会を、白馬セミナーで開催します!! 白馬でもキットを販売しますので、2日目夜までに完成させての参加もOKです(税込980円)。参加資格は、今年度制作のレースカーです。重量は185g以下。重り等を加えることはルール違反となりますので、ご注意ください!

昨年に引き続き、今回も「スピード部門」「美術部門」の2部門で競います。「美術部門」コンテストの郵送受付は11月10日(木)まで。郵送先はチア事務局へ(白馬参加の皆様はご持参ください)。作品は白馬セミナーで展示し、優秀作品は表彰させていただく予定です。

レースカーキットは、誰でも作れます。形や色も工夫できます。車軸は差し込むだけなので、トンカチも必要なし。お母さんや小さい子どもたちでもできる楽々セットです。気軽に、こぞってご参加ください! 工作・技術の向上はもちろん、素晴らしい家族の思い出にもなりますよ!



現在、キットの申込を受付中です。ご希望の方は、下記の申込書でお申込みください。

レースカーキット購入申込書
FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

お名前 () 携帯番号 ()

住所 (〒)

レースカーキット 980円× () 台 = () 円

※ 5,000円以上のお買い上げで送料無料。通常5,000円未満の場合は送料400円がかかります。(沖縄・北海道は別)
※ 商品発送時に、郵便振替用紙を同封しますので、チアにつぼん 00190-3-35461 までお振込み下さい。

第10回 チア・につぼん杯 読書感想文大会 募集中!

良書を読むこと、感想文を書くことは、神さまの栄光を現す力となります。一昨年も15作品の素晴らしい作品の数々が寄せられました。今年もたくさんのご応募、お待ちしております!

◆対象作品：チア書籍(どれでもOK)、あるいは三浦綾子作品(どれでもOK)、
聖書も今回から可(巻・トピック自由)!!

「ソウル・サーファー」「イエスさまと十字架」「明泉学園の聖書絵本」もOK

◆部門：(1) 幼稚園の部(200～600字) (2) 小学生の部(400～1600字)
(3) 中高生の部(800～2000字) (4) 一般の部(800～2000字)

◆締切：11月13日(日)

◆発表・授賞式：11月17日(木)夜7時 白馬セミナー会場(予定)

◆送り先：〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103 チア・につぼん事務局「読書感想文係」
(※メールでも受け付けています → office@cheajapan.com) * 読書感想文の裏に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・FAX番号・メールアドレスをご記入下さい。

チア・オリンピックアンケート2



*****大人*****

●3回目の参加でしたが、府中であったこともあり、たいへん参加しやすく、楽しんで過ごすことができました。決勝をしなかった分、他の競技もできてよかったと思います。子どもたちにとって、オリンピックはスポーツをやる大きなモチベーションになっています。今後ともどうぞよろしく願います。（長野 衣笠 健三）

●とても良かったです！雨をもともせず、驚きました。スタッフのみなさんやボランティアの方々がびしょぬれになりながらも笑顔で仕えておられる姿が印象的でした。そして、雨をネガティブにとらえないで、「雨の中で走れて楽しい(^) きもちいい！」と喜んでいいる子どもたちの姿から学ばさせられました。まさに恵みの雨ですね。メダル大放射もすばらしかったです！我が家でも、たくさんメダルを頂いた子どもはもちろん、がんばった競技でピンポイントにメダルをもらえた子たちが喜んで

いる姿が印象的で、やっぱり子どもたちにとって、メダルの効果は大きいと実感しています。また、稲葉さんが初メダの子どもたちのことを気にかけてくださって、「よかったね～」と笑顔で何回も言ってくださっていたのが印象的で、子どもたちも「稲葉さん、初メダの子たち見て、うれしそうだったね。」と言っていました。子どもたちの喜んでいいる姿が忘れられません。表彰台の子どもたち（大人たちも！）の笑顔が輝いていました。（長野 衣笠 葉子）



○雨の中走るみなさん、とてもステキでした！ハーフ走があったのがよかったです。

(長野 衣笠 とも)

○すごく楽しかったです。チームでの競技がすごく楽しかったので、野球とかみんなで作ってみたいです。また来年も参加したいと思っています。

(長野 衣笠 生)

○雨の中でも思いっきり走るのは楽しいなって思いました。いっぱい走れて嬉しかったです。少し前から走り込みもして、目標のタイムを越せたことがすごく嬉しかったです。また来年もチアオリンピック絶対やって下さい！絶対行きます。

(長野 衣笠 みくに)

しかった。(Aくん)

○たのしかった。

(長野 衣笠 向)

○3度目の参加、楽しかったです！当日は雨でしたが、アスリートみたいで楽しかったです。メダル大放し良かったです。表彰式も数多くで大変だったと思いますが、1個1個丁寧にメダルをかけてくれて、わたしも初めてメダルをもらうことができましたのでとてもうれしかったです！

(長野 衣笠もえ)

*****子ども*****

○一生懸命がんばっている皆さんの姿を見るのは、とても印象的でした。雨の中だったのに、最後は全然気にならなくなっていた自分に驚き、同時に強くなれた気がしました。メダル大放しとても良かったです。次回以降もぜひお願いします！お昼ごはんも落ち着いて食べられたのと、家族紹介もちょうどいい長さで、今までで一番ちょうどよかった気がします！最近、いろいろ新しい企画を実施してくださっていて、何だかワクワクします★これからもぜひ、いろいろ企画にチャレンジしてください！楽しみにしています♪いつか将来、何かチアのお役に立てたらと思っています。

(長野 衣笠 ひかり)

○とくに、はしりはばとびがたの



♪ 千アわくわく集中勉強合宿♪ アンケート No.2



*****大人*****

●初めて子どもと一緒に参加しました。2泊3日、とてもとても充実した日々を過ごさせていただきました。またこのような企画があればその時は主人も一緒に参加ができればと思います。OB・OGパネルディスカッションや事業家から牧師になられた増山氏のお話でうなずく話が多かったです。生きたお証、真実であり正直なお話には、笑いあり、涙誘われるお話がありました。ホームスクーリングをしていて、不安な思いの中にある日々でしたが、なんだ

か心暖まり、いかに皆さんが主に依り頼み、神様の声を聞き歩んでこられたかを思われ、輝いておられる皆さんの顔をこの目で拝見できたことは本当に良かったです!!励まされました!!そして稲葉さんはじめ、CSSスタッフの皆様や、講義や制作や水泳指導に携わられた兄弟姉妹の御労に心より感謝します!なかなか顔と顔を合わせゆっくり話すことがない我が家にとっては、何から何までくつろぐ場でした。やはり信仰の土台をしっかりと身に着ける為、聖書を読むこと、祈ること、そして学習に取り組むこと(目からウロコ!!)。この合宿を通して、

ビフォーアフターのように我が家はがらりと変えられています!2泊3日、先輩方々や現在ホームスクーリングしている皆様とお交わりができて、本当にたくさんの刺激を受けて良かったです。ありがとうございました。

(新潟 Aさん)

●今回初めて、子どもたち三人と参加できました。いつもは上の子(高2と中3)に合わせて過ごすことが多いのですが、下の子(4歳)と一緒に絵かき教室やスイミングにも初参加することができ、楽しく過ごせました。上の子も初めて参加で緊張してしまし

たが、普段はマイペースに勉強しているの、良き緊張感があって勉強も集中できたようで感謝でした。OB・OGの方達の質疑応答を聞くことができ、正直で素直な応答に感動しました。そして、神様に出会うことが一番大事で、その土台があって信仰や勉強に進んでいけることを再確認できました。増山さんの話も、神様がどのように語られ導かれたのかを分かりやすく話していただき感動しました。また、稲葉さんのアニメーションの映画、そしてメッセージもインパクトがあって、分かりやすく良かったです。子どもが、中学・高校の年代になると色々な恐れがでてきて、葛藤や戦いが私たち親の内に多く、ペテロのように主から目をそらして沈みかかっている状態でした。しかし、主を見上げて歩いていくことの大切さや「恐れることはないですよ！」と励ましていただき、本当に感謝でした。勉強の方法については、コーチとして伴走することが一番大事であると教えていただき、つい子ども任せに勉強をさせていたことを反省させられました。親が子どもと伴走するコーチとしての役割が、とても重要だと分かりました。ホームスクーリングペアレンツによる特別セッションには、幼児も参加できたので、下の子どもも楽しく過ごせて良かったです。なかなか集まれる機会がなく、情報や励ましを受ける機会がないので、合宿はとても感謝でした。同じように頑張っている人に囲まれ、集中する機会が与えられることを願っていたので本当に感謝しました。今回の参加費も色々

犠牲を払って低く抑えた金額だと思えます。心から感謝します。小さい子どもを連れて参加する人にとっては、特別セッションは助かりました。次回もあると感謝です。OB・OGのパネルディスカッションでは、良い模範を見せていただき、刺激を受けましたので、次回も希望します。オリンピックなどの企画に続いて、合宿のために多くの犠牲を払って準備頂きまして、本当に有難うございました。良き情報、チャレンジを頂ける機会となったことが、感謝です。今後もチア・にっぽんの働きは重要ですので、主にあって心から祝福をお祈りしています。

(茨城 Bさん)

*****子ども*****

〇とても楽しかったです。集中して勉強することができました。宮崎先生の暗算メソッドが特に良かったです。集中力が高まる方法も教えてくれました。次回もジョイ

スイムミニをやりたいです。

(神奈川 辻 のゆり)

〇多様で有益な講演会が開かれていたことが良かったと思いました。プログラミング、太陽電池の講座の実験体験から、「何がどのようなものなのか」を知ることができて、視野が広がりました。遠くから来た方と友達になれたことも良いことの一つでした。ありがとうございました。

(埼玉 市川 喜也)

〇自分にとって、とても有意義な合宿だったと思う。特に増山さんのメッセージが強く心に残った。また、勉強の前のショートメッセージより、勉強においての目標、何のために勉強するのかが明白になり勉強が好きになれた。今回の合宿で学んだことを実践していきたい。

(埼玉 市川 恵生)



祈りと信じることが強調され、好評だった「2000人の会社経営者から伝道者へ」セミナー by 増山浩史さん

♪ ボイス & メール ♪ Voice & Mail

● コンベンション、今回も素晴らしい特別な恵みを頂きました！長女が中学生になり、勉強が難しくもなり、ホームスクーリングをこのまま続けていて本当に大丈夫だろうか、と思うことがしばしばありました。神様に信頼するよりも、不安が心を占めてしまい、心が揺さぶられました。「自分が子どもたちの将来をダメにしてしまうのではないか、あれもこれもできていない…ホームスクーリングが本当に子どもたちにとって最善なのだろうか…これ以上続ける自信がありません。」と、神様に訴えていました。

でも、コンベンションでのジュリー・ホーン女史の言葉に、ひっくり返りそうになりました。「私たちは、ホームスクーリングにコーリング（召し）があるわけではない。」（えっ！？）「ホームスクーリングをすることは、神様を信じる者にはとても自然なことで、むしろ学校に行かせることの方が、コーリングがなければできない。」ということと、「では、私たちは何にコーリングがあるのか。それは、ホームスクーリングをすること自体ではなく、聖くなることです。」その2つの真理に、ハッとさせられました！ホームスクーリングをす

ることは、神様の命令に、ただシンプルに従うことなのだと、何度も学び、心に刻んできたつもりでした。でも、私は、ホームスクーリングに特別にコーリングがあってやっていると、過去12年間気負ってきたような気がします。そして、その「コーリング」に、自分は相應しくない者だと、自分を責め続けてきました。でも、今回のコンベンションで、自分は間違っていたと、目を開かれました。

気を付けていないとすぐに、世の価値観に心が奪われそうになっ

たり、周りと比べて、焦ったりしてしまう。でも、神様はすべてご存知で、いつもタイムリーに、コンベンションを通して、私たちが神様の方を向くように、神様に信頼するように励まし、心の軌道修正をしてくださいます。今回のコンベンションでも、そのような神様の御業を体験しました！神様、ありがとうございます！！「ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。そういう人は、主から何かをいただけるとってはなりません。そういうのは、二心のある人で、その歩む道の全てに安定を欠いた人です。」（ヤコブ1:6-8）まさに私は、このように二心のある者でした。どこかで、このままでいいのだろうか、と疑ってきたような気がします。子どもたちが怠けていると、「来学期からは学校に行っただ方がいいね。」なんて脅かし半分で言ってきました。母親の心が定まっていなくて、本当に可哀想なことをしました。今回のコンベンションで、心から悔い改め、私たちは、このままホームスクーリングで進んでいくのだと決心を新たにしました。神様が望まれる主の教育について、再び考えさせられました。





今回のコンベンションは、そういう意味で特別でした。

日本でのホームスクーリングで子どもたちが中学、高校の年齢になった時、皆さんはどうされているのか、どんな工夫をされているのか、不安になりがちなアカデミックなことも、きちんと知っておきたいと思っています。

(埼玉 Aさん)

●先日は、マガジン最新号を届けていただきまして、ありがとうございました。国会のお働きやチアのイベントが重なる中、編集や校正、印刷など、さぞご苦労が多かったことと思います。汗と涙の結晶のようなこのマガジンが、クリスチャン、ノンクリスチャン問わず、さらに用いられていくことを願って止みません。それにしても、国会ドキュメントを拝読しながら、相手が誰であっても、感謝と尊敬を持ちつつ、大胆にアプローチしていかれる稲葉さんのお姿には大変励まされ、学ぶことが多かったです。主が共におられますね。神様からの特別な使命と賜物がさらにきよめられ、用いられていきますようにお祈りしています。それから、政治家というと、正直、あまりいいイメージがなかったのですが、メディアではなかなか知ることのできない議

員さんたちの、意外な素顔を知ることでもでき、よかったと主人も言っていました。同じ人間なんだと、ほっとすると同時に、普段、政治家の方々に対してさほど祈らず、批判ばかりしていた自分を反省しました。議員さんたちのためにも祝福を執り成していきたいです。議員さんとの質疑応答コーナーも参考になり、とても勉強になりました。こうして神様に押し出され、扉がどんどん開かれて法案作成

にまで用いられているチアの尊い働きを、これからも応援していきます。勧めていただいた GrapeSEED、本当にいいですね。もっとはやく始めとけばよかった～(苦笑)親子で楽しんでいます。感謝です。

(岡山 Bさん)

●今回頂いたチアにっぽんのマガジンを読ませていただき、文科省や政治家の方々との詳細なやりとりを拝読しました。恥かしながら、ようやく法案の全体像と議論のポイント、チアの意見について理解した次第です。本件に関し、稲葉さんはじめスタッフの方々のご尽力に感謝します。ある意味、クリスチャンホームスクーラーは初めから論外と言いますか、どちらかというとな登校の問題解決が発端だったのだという印象を受けましたが、そこへHSへの悪影響をいち早く察知して乗り込んでいくあたり、さすがだと思いました。それだけでなく、決して政治家の方々を非難するのでもなく、強硬にこちらの言い分だけを主張するのでもなく、相手を尊重しながらまた聴く事前の準備もしながら、ポジティブなクリスチャンホームスクーラーの存在と意義を知らしめ、その中で自然体でキリストを証していく姿に、これは日本中枢部への伝道だと



気付きました。稲葉さんのご説明で、私自身もあらためて発見がありました。私たちホームスクーラーは学校制度を否定しているのではないこと、これから増加するにしても現実的にHSは少数派に留まるだろうこと、HSが多様な教育のひとつのオプションとして正式に認められることは、さらに責任を持って社会の一員としての役割を果たすことになること等です。今まではどことなく秘密結社、反社会勢力っぽい負い目(?)や言い訳が自分自身の中にあつたことは否めません。もちろんこの世と迎合するということではなく、その中であつて地の塩となりなさいと言われていたのですね。白馬キャンプ大変楽しみにしております。

(東京 Cさん)

●マガジンとニュースレター送付、チアオリピックとCSS合宿と次々と精力的な活動をありがとうございます。マガジンの大半は届いた翌日に読みました。法案の件について、私が特に興味深く思ったのは、下村議員との

やり取りでした。議員さんたちが不登校やホームスクールについて当事者のように理解することは難しいですし、虐待について心配されるのはもっともなことです。だから、種々の誤解を解きつつ、稲葉さんがホームスクーラーとして、また、多様な教育にその実践者としての立場から、議員の方々に働きかけをして、事実に基づく情報や歴史を踏まえた提案を伝えていくことは大切だと思われました。これまで、またこれから払われる労とエネルギーへの主の報いと主の導きがはっきり示されるよう祈っています。日本の子どもたちにとって最善の法案として成立しますように。また、稲葉さんと同行するスタッフの皆さんが、主の証人として用いられますようお祈りしています。

(神奈川 Dさん)

●わくわく合宿、ありがとうございました。新たに力を頂いて、日々邁進…とはいけてないですが、我が家なりのペースができてきています。今回主の導きにより、「祝福の祈り」にチャレンジするグループができました。6人で、週5日以上、子供を祝福する祈り続けようとしています。始めて1週間、それぞれの家庭で変化が起きつつあるようです。祈り合うこと、励まし合えること、そのためのつながりが今回のわくわく合宿を通してできたことに感謝します。チアの動きのためにお祈りしています。

(東京 Eさん)

●チアコンベンションではお世話になりました。ありがとうございました。お祈りに支えられ、励まされ、初めての参加が許されたことを皆でいつも感謝しております。参加した友人のお母さんと子どもに、大きな変化が与えられて、友人と共に主の御名を褒め称える日々です。私と友人も、チアの聖書に基づく教科書を購入して読みすすめ、気付けなかった多くのことを学ばせていただいております。そして、みことばが人を養い育てることを、

子どもを通して改めて体験し、皆様のお祈りと主に心から感謝いたします。

さて、白馬セミナーに、皆で日程を立てて、参加したいと思いますのでよろしくお願い致します。友人の娘さんとその子どもさんが、白馬の話をしながらか、「イエス様はどのくらいAちゃんのこと愛しているんだろうね」と話して上を見上げたら大きな虹が架かっていたそうです。友人も私も嬉しくて、神様の御名を賛美しました。又、お世話になります、どうかよろしくお願い致します。ニュースレターを楽しみにしております。皆様のお働きに、主の大きな祝福をお祈りしております。



(秋田 Fさん)

●私は独身ですが、教会で作られたチャーチスクールに関わったことがきっかけで、チャアのセミナーなどに参加させてもらうこと、10年を越えました。子どもたちとその家族、とくにお母さんたちと関わる機会を神様がくだ

さり、その後、現在は、仕事を通して子どもたちやお母さん、時にはお父さんたちと関わる機会があります。私自身はホームスクーラーではないですが、チャアを通して学ぶことがたくさんあります。今年も白馬セミナー楽しみに参加します。これからもよろしくお願い致します。スタッフの皆さんの上に、主の守りがいつもありますように。

(栃木 Gさん)



●8月10日の金曜日18時42分、山川ファミリーに9番目の新しい命が誕生しました！7番目の女の子で、**七香(ななか)**です(^)よろしくお願い致します。3324gでした。

詩篇 119:164「あなたの義のさばきのために、私は日に七度、あなたをほめたたえます。」

妻の方は、お医者さんからも驚かれるほど全くの無傷だったみたいです。頭が出る時は痛みがあったのですが、陣痛の痛みはほぼなく安産でした。産後、「イエスの血潮を宣言する祈りのおかげ」と言っていました。お祈り感謝でした。主に感謝(^) (香川 山川 哲平&真紀子)



●私たちの第四子（次男）、**唯維志（ゆいし）**が7月18日に誕生致しました！
「先ず、唯一の神様とつながり、人と神様をつなぐ働きをし、またその働きを励ますことができる人、そのような志を持った人として歩むことができるように」（ピリピ2:13）というのが私たちの願いです。今後ともよろしくお願い致します。（岐阜 永田ヨハネ&ゆり）

慶應義塾大学 赤林・大垣教授から 「世界観の経済行動への影響」研究にご協力への感謝とお願いです

2011年より毎年白馬セミナーで、また2013年より毎年コンベンションでも同様の実験をする中で、多くの方にご参加いただき、心から感謝しています。今回は白馬セミナー2016の参加者の皆さんに、私どもの研究へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける方には、アンケート調査とともに、親子でゲーム式実験に参加していただきます。協力謝金をお支払いします。アンケートと実験結果は研究目的以外には使用しません。詳細は参加者の方に郵送いたします。

Keio University



お問い合わせは、慶應義塾大学 大垣研究室

メール：mogaki@econ.keio.ac.jp 電話：03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授
 大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授

東京路傍伝道

主のご命令に従うこと、伝道！

クリスチャンとは主に従う者たちです。弟子たちは主と共に伝道しました。あなたも、東京伝道に参加してみませんか。

★東京伝道の日程★

- ・11/23（水） ・12/23（金）
- ・1/9（月） ・3/20（月）

（他に毎週日曜日夕方、高崎駅にて賛美と配布をしています。）

★集合場所：赤羽駅

★時間：10:00～16:00

★連絡先：

- 0270-21-6991（福音館）
- 080-5682-9726（田村）
- 090-6509-2178（風間）



5年前から、伊勢崎のチャーチ&ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで、足立区、葛飾区、江戸川区、荒川区と合計100万世帯以上を終え、現在、北区で伝道しています。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト&聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！（事前に必ず、ご連絡ください。）

チア・にっぽん カレンダー

●白馬セミナー

11月17日(木)～19日(土)

◇ホテル・グリーンプラザ白馬

●ジョイラン 4月上旬

●チア・コンベンション2017

6月2日(金)・3日(土) 大阪

◇New! ホテル・ロジ舞洲

6月9日(金)・10日(土) 東京

◇オリンピック記念青少年総合センター

●チア・サマーキャンプ 8月中旬

●チア・オリンピック 9月

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P
定価：本体 2,000 円 + 税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

お問合せ：株式会社ヨーゼフ
Tel : 043-207-6035 Fax : 043-207-6036
メール：info@yozeph.com ホームページ：http://yozeph.com

<本の内容>

- 序文 発達障害や精神障害の治療を願って
I. 発達障害から良くなった子供たち
II. どのように治療をするのか
A. 治療の枠組みと方法
B. 発達障害についての私たちの立場
C. 発達障害の治療への取り組み
D. 治療方法の説明
III. 治療に必要な知識や理論
A. 身体の形成と栄養の補給
B. 障害への対応の基礎知識
IV. 統計、よくある質問、索引
A. 発達障害検査統計
B. よくある質問

〒189-0013

東京都東村山市栄町 1-5-4-103

TEL 042-318-1807

FAX 03-6862-8648

メール

office@cheajapan.com



チア・にっぽん事務局

【7月会計】

収入	
献金	1,237,000
書籍・教科書	152,141
会費	46,000
DVD/CD、ビデオ等	37,936
その他	32,762
<hr/>	
	1,505,839
支出	
事務局経費	1,164,380
通信運搬費	98,657
交通費	214,975
<hr/>	
	1,478,012
残高	27,827
前期繰越	33,785
翌期繰越	61,612

【8月会計】

収入	
献金	1,771,296
書籍・教科書	185,466
会費	18,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	141,941
その他	-7,914
<hr/>	
	2,138,789
支出	
事務局経費	1,955,025
通信運搬費	68,639
交通費	127,774
DVD & 商品仕入費	2,000
<hr/>	
	2,153,438
残高	-14,649
前期繰越	61,612
翌期繰越	46,963

【9月会計】

収入	
献金	2,106,645
書籍・教科書	44,890
会費	129,000
広告	637,815
DVD/CD、ビデオ等	59,540
その他	12,400
<hr/>	
	2,990,290
支出	
事務局経費	1,757,143
通信運搬費	67,145
交通費	746,867
印刷費	420,899
DVD & 商品仕入費	4,000
<hr/>	
	2,996,054
残高	-5,764
前期繰越	46,963
翌期繰越	41,199